

2018年度学校自己評価 アンケート集約結果

【全体集計(設問番号順)】

2019年3月12日

項目	評価の観点	NO	評価項目	非常によい	よい	ふつう	悪い	非常に悪い	平均 (5点満点)	昨年度 平均	一昨年度 平均	本年度の成果と次年度の課題
学校運営	本校の独自性	2	建学の精神・校訓の理解	9%	45%	39%	7%	0%	3.6	3.4	3.1	・17項目中15項目で、2年間評価が上がっている。 ・建学の精神、教育方針、学校教育目標に照らして、2018年度の研究主題として「学びの意欲を引き出す授業」「望ましい人間関係で構築された集団づくり」を掲げた。 ・集団作りについては、学校行事、クラスの活動、などを通して一定取り組むことができたと言える。 ・また、教科学習においては、4月当初の教科会議で年間シラバスを作成し、授業研究に取り組んできた。2018年度は中学生に引き続き高校1年生もタブレットを持ち学習に取り組んでいる。 ・全体での研修や教科会議を通して授業研究の充実を図りたい。
	本校の独自性	3	教育方針の理解	7%	23%	66%	4%	0%	3.3	3.2	3.2	
	本校の独自性	4	教育目標の理解	9%	48%	39%	4%	0%	3.6	3.4	3.2	
	教育課程全般	5	教科の教育計画	7%	30%	59%	4%	0%	3.4	3.4	3.3	
	教育課程全般	6	シラバスに沿った授業	25%	48%	21%	5%	0%	3.9	3.8	3.5	
	教育課程全般	7	適正な学習評価	46%	41%	11%	2%	0%	4.3	4.2	4.2	
	教職員連携	8	教員の連携	16%	57%	20%	7%	0%	3.8	3.7	3.4	
	教職員連携	9	会議の効率性	14%	48%	30%	5%	2%	3.7	3.4	3.2	
	教職員連携	10	校務分掌が有効に機能	4%	25%	46%	25%	0%	3.1	3.1	2.9	
	広報活動	11	ホームページの有効性	18%	38%	41%	4%	0%	3.7	3.9	3.4	
	広報活動	12	オープンキャンパスの有効性	27%	50%	23%	0%	0%	4.0	4.3	3.9	
	情報公開	13	教育活動の公開	11%	41%	46%	2%	0%	3.6	3.6	3.5	
	情報公開	14	個人情報保護の取り組み	23%	46%	29%	2%	0%	3.9	3.7	3.5	
	危機管理	15	危機管理の対応状況	16%	52%	29%	4%	0%	3.8	3.5	3.4	
	危機管理	16	安全教育の徹底	11%	55%	32%	2%	0%	3.8	3.6	3.3	
	財務関係	17	経費削減の意識と実行	5%	25%	43%	27%	0%	3.1	3.0	3.0	
	教育内容	教科指導	18	教科会議の有効な実施	11%	52%	34%	4%	0%	3.7	3.4	
教科指導		19	生徒の質問に丁寧に対応	29%	52%	18%	2%	0%	4.1	3.8	3.6	
教科指導		20	授業アンケートの活用	25%	50%	21%	4%	0%	4.0	3.6	3.4	
教科指導		21	授業ルールの徹底	18%	38%	32%	13%	0%	3.6	3.2	3.2	
女子教育		22	女性学の充実	13%	41%	38%	7%	2%	3.6	3.4	3.3	
女子教育		23	教職員の女子教育意識	9%	23%	46%	18%	4%	3.2	3.2	3.1	
人権教育		24	人権教育の実施	7%	43%	45%	5%	0%	3.5	3.3	3.5	
人権教育		25	人権教育の組織的な計画	11%	34%	46%	9%	0%	3.5	2.9	2.8	
人権教育		26	人権侵害事例の的確な指導	18%	55%	25%	2%	0%	3.9	3.4	3.2	
学校行事		27	文化祭・体育祭の取り組み	21%	50%	20%	7%	2%	3.8	3.9	3.7	
学校行事		28	修学旅行の取り組み	50%	36%	13%	2%	0%	4.3	4.5	4.5	
情報教育		29	情報活用能力の向上	11%	48%	32%	9%	0%	3.6	3.6	3.5	
情報教育		30	情報モラルの計画的指導	7%	38%	48%	5%	2%	3.4	3.3	3.4	
特別支援教育		31	教職員の共通理解	11%	25%	57%	5%	2%	3.4	3.0	3.0	
特別支援教育		32	情報を共有した具体的指導	16%	55%	25%	4%	0%	3.8	3.3	3.1	
生徒会活動		33	活発な活動	11%	30%	48%	9%	2%	3.4	3.7	3.4	
生徒会活動		34	自治力を育む指導	11%	29%	41%	18%	2%	3.3	3.5	3.2	
部活動	35	活発な活動	43%	29%	29%	0%	0%	4.1	4.2	4.2		
部活動	36	挨拶の励行等生活指導	11%	48%	30%	11%	0%	3.6	3.8	3.7		
部活動	37	保護者会の実施	4%	21%	54%	14%	7%	3.0	3.2	3.0		
生徒指導・支援	生徒指導	38	教職員間の情報交換	13%	46%	39%	2%	0%	3.7	3.5	3.4	・生徒の情報を教職員間で共有して組織的に取り組み、タイムリーに対応していくことができた。 ・園田学園女子大学とは、「高大連携講座」「大学体験講座」「学部学科別説明会」などさまざまな場面で、連携してすすめている。さらに、内部進学制度の充実を図りたい。
	生徒指導	39	学校のきまりの日常指導	5%	23%	63%	9%	0%	3.3	3.3	3.1	
	生徒指導	40	学年全体の指導の連携	9%	55%	30%	4%	2%	3.7	3.6	3.5	
	学習支援	41	学習支援の有効な実施	18%	45%	36%	2%	0%	3.8	3.6	3.6	
	進路支援	42	進路支援の的確な指導	14%	41%	41%	4%	0%	3.7	3.5	3.4	
	進路支援	43	園田学園女子大の理解	5%	20%	61%	14%	0%	3.2	3.2	2.8	
	進路支援	44	園田学園女子大との連携	7%	25%	48%	20%	0%	3.2	3.1	2.8	
	進路支援	45	内部進学の組織的取り組み	7%	32%	54%	7%	0%	3.4	3.2	2.9	
連と家庭の連携	家庭との連携	46	学校と家庭との連携	14%	50%	34%	2%	0%	3.8	3.4	3.2	・保護者との連携を密にしてすすめていかなければならな い
	校友会との連携	47	校友会活動への参加	7%	7%	46%	38%	2%	2.8	2.8	2.7	
教職員研修	研修内容	48	研修内容の充実	4%	45%	45%	7%	0%	3.4	3.2	3.0	・組織的にも個人的にも研修が、さらに必要である。
	研修成果	49	研修成果の活用	9%	39%	48%	4%	0%	3.5	3.2	3.0	
	自主研修	50	自主研修の務め	9%	32%	36%	23%	0%	3.3	2.9	2.8	
平均				14%	39%	38%	8%	1%	3.6	3.5	3.3	

アンケート対象教員の年齢構成 (全56人)

